



平成 29 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 一 蔵
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 河 端 義 彦
 (コード：6186 東証第一部)
 問 合 せ 先 経 営 企 画 室 長 渡 邊 正 樹
 (TEL：03-5288-7111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 10 月 28 日に公表した平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 （平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	15,736	1,247	1,254	785	143 円 41 銭
今回修正予想(B)	15,359	1,000	1,100	734	134 円 02 銭
増減額(B-A)	△376	△247	△153	△51	
増減率(%)	△2.4	△19.8	△12.3	△6.5	
(ご参考)前期実績	14,007	1,038	1,029	608	144 円 89 銭

なお、当該前期実績は、前期の単体決算を記載しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、当第 3 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）までは業績予想どおり推移いたしましたが、第 4 四半期連結会計期間（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）において、和装事業では翌々年成人向けの販促効果が想定を下回り、今春開催予定の催事への来場申し込み件数は伸長しているものの売上高は業績予想対比 1.3 億円未達となる見通しとなりました。またウエディング事業では少人数婚の施行組数が想定を上回ったことや冬季の一部販促キャンペーンの開催時期の遅れなどにより施行組数が計画を下回る影響から売上高は業績予想対比 2.4 億円未達となる見通しとなりました。

したがって、売上高につきましては前回発表予想を合計 3.7 億円下方修正いたします。

営業利益につきましては、当第 3 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）までは業績予想どおり推移いたしましたが、第 4 四半期連結会計期間（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）において、和装事業では上記のとおり売上高減少による影響から業績予想対比 2,600 万円未達となる見通しとなりました。またウエディング事業では上記のとおり売上高減少による影響のほか、譲受式場ミラベルにおいて受注サロン設置に係る先行投資を行ったことにより業績予想対比 2.1 億円未達になる見通しとなりました。

したがって、営業利益につきましては前回発表予想を合計 2.4 億円下方修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、上記による影響から前回発表予想を下回る見通しとなりました。

なお、一蔵グループの次なる成長に向け、和装事業では平成 28 年 5 月に子会社化した株式会社京都きもの学院とのシナジーによる既存事業の強化、SPA（製造小売り）化の推進・強化、ウエディング事業では沖縄のリゾートウエディング開業に向けた着実な推進や事業譲受式場ミラベルを含めた既存事業の強化などの取り組みを着実に実行しております。皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

3. 配当予想について

配当予想につきましては、平成 29 年 1 月 13 日に公表した内容から変更はありません。

【見通しに関する留意事項】

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上